

高等学校英語科採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採点上の注意	配点		
1	No.1	Ⓐ	B C D		各 5 × 6	30	
	No.2	Ⓐ	B C D				
	No.3	A B C	Ⓓ				
	No.4	A	Ⓑ C D				
	No.5	A B C	Ⓓ				
	No.6	A B	Ⓒ D				
2	A	No.1	It is that natural disasters cannot be stopped while poverty can be stopped.		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 5 × 4	20
		No.2	He says that they have to realize that they are already rich.				
	B	No.1	About 90 % of them do.				
		No.2	Illegal logging and the growth of the palm-oil industry are said to be the main causes of it.				
3	<p>The first problem is that he thought it was his students who were to blame for his failure to attract his students with his lessons. The second problem is that he planned his lessons based only on his own successful experiences in the past, such as ones in his student teaching and the pleasure he had experienced in studying literature when he was a student.</p> <p>In order to improve his lessons, he should try to understand students' level of understanding, abilities and aptitudes, or interests and concerns, through the observation of the students' performances in everyday classes or daily interactions with students outside of class. On top of that, he should instruct the students in accordance with the students' characteristics and degree of understanding and conduct the instruction effectively to achieve the goals of the lessons, taking into consideration what teaching materials and information or what kind of questions should be presented to the students.</p>		問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。	30			
4	1	(1)	①	イ		各 4 × 5	90
			②	ウ			
			③	イ			
			⑤	エ			
			⑥	ウ			
	(2)	may be robbing themselves of the experiences and practice necessary to develop		5			
	(3)	エ		10			
	2	(1)	ア	②		各 4 × 2	
			イ	⑥			
(2)		Most of us grow up on a steady diet of riddles, jokes, wordplay, and math problems. We have a deep reservoir of previous experience to draw on. To test problem solving in the purest sense, scientists needed something completely different— ideally, not “academic” at all.		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	12		
(3)	部屋の中央にあるロープにおもりをつけて振り子のように揺らし、おもりをつけたロープが壁側のロープに近づいた時に掴むこと。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10			

高等学校英語科採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採点上の注意	配点																		
4	<p>3</p> <p>People tend to favor either an intuitive approach or an analytical approach to a problem, but intuition forms an essential component of our total intellectual endeavor. One of the important characteristics of intuition is its non-verbalizability. In teaching, we daily face problems where we cannot verbalize why a particular decision was made. Intuition also involves risk taking. Language teachers must be willing to risk techniques or assessments, based on intuition, the making of good guesses in situations where one has neither an answer nor an algorithm for obtaining it, since there are unanswerable questions about how people best learn second languages.</p>	<p>内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。</p>	<p>2 5</p>																		
5	<p>英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すこと。</p> <p>論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書くこと。また、書いた内容を読み返して推敲すること。</p> <p>発表の仕方や討論のルール、それらの活動に必要な表現などを学習し、実際に活用すること。</p> <p>相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討して自分の考えを広げるとともに、課題の解決に向けて考えを生かし合うこと。</p>	<p>順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。</p>	<p>各 3 × 4</p> <p>1 2</p>																		
6	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">単元の目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに協力しながら対話を継続させ、積極的に質問したり感想や意見を交換したりする。</li> <li>・環境問題に関する話題について、ペアやグループで自分の感想や意見とその理由を伝え合う。</li> <li>・題材内容についての賛否、簡単な感想や意見等を述べるができるように批判的に読む。</li> <li>・感想や意見とその理由を述べたり話し合いを続けたりするために必要な語句や表現及び文法事項を理解する。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <th style="width: 10%;">時数</th> <th style="width: 45%;">学習活動</th> <th style="width: 45%;">指導上の留意点</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本単元で扱う文法事項について当該文法を実際に用いて言語活動を行うことについて慣れ親しむ。</li> <li>・それぞれの国の現状や課題と主張及びそれらの違い等について予想し、ペアで話し合う。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用法の区別などの指導が中心とならないように配慮し、実際に活用できるように指導する。</li> <li>・話し合う活動の中で適宜、本単元の新出語句を導入する。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを活用して本文の概要を確認した後、感想やその理由を話し合う。</li> <li>・図表や絵などを用いながら読み取ったそれぞれの国の現状や課題と主張及びそれらの違い等について口頭で要約する。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感想や理由を述べるために必要な表現を指導する。</li> <li>・グループで、聞き手の理解を確認しながら話すように注意させる。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文で扱われていない国についての現状や課題と主張が書かれた英文を読み、その概要を把握する。</li> <li>・それぞれの国の主張について「どの国の主張が妥当か」とその理由をグループで話し合う。</li> <li>・各グループで話し合った内容をクラス全体に発表する。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文について読み取った内容から英文の概要を推測させ、内容の理解を促す工夫をする。</li> <li>・話し合いを続けるために必要な表現を指導する。</li> <li>・黒板にキーワードのみを書き口頭発表するように指導する。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	単元の目標			<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに協力しながら対話を継続させ、積極的に質問したり感想や意見を交換したりする。</li> <li>・環境問題に関する話題について、ペアやグループで自分の感想や意見とその理由を伝え合う。</li> <li>・題材内容についての賛否、簡単な感想や意見等を述べるができるように批判的に読む。</li> <li>・感想や意見とその理由を述べたり話し合いを続けたりするために必要な語句や表現及び文法事項を理解する。</li> </ul>			時数	学習活動	指導上の留意点	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本単元で扱う文法事項について当該文法を実際に用いて言語活動を行うことについて慣れ親しむ。</li> <li>・それぞれの国の現状や課題と主張及びそれらの違い等について予想し、ペアで話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用法の区別などの指導が中心とならないように配慮し、実際に活用できるように指導する。</li> <li>・話し合う活動の中で適宜、本単元の新出語句を導入する。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを活用して本文の概要を確認した後、感想やその理由を話し合う。</li> <li>・図表や絵などを用いながら読み取ったそれぞれの国の現状や課題と主張及びそれらの違い等について口頭で要約する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想や理由を述べるために必要な表現を指導する。</li> <li>・グループで、聞き手の理解を確認しながら話すように注意させる。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文で扱われていない国についての現状や課題と主張が書かれた英文を読み、その概要を把握する。</li> <li>・それぞれの国の主張について「どの国の主張が妥当か」とその理由をグループで話し合う。</li> <li>・各グループで話し合った内容をクラス全体に発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文について読み取った内容から英文の概要を推測させ、内容の理解を促す工夫をする。</li> <li>・話し合いを続けるために必要な表現を指導する。</li> <li>・黒板にキーワードのみを書き口頭発表するように指導する。</li> </ul>	<p>問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。</p>	<p>1 8</p>
単元の目標																					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに協力しながら対話を継続させ、積極的に質問したり感想や意見を交換したりする。</li> <li>・環境問題に関する話題について、ペアやグループで自分の感想や意見とその理由を伝え合う。</li> <li>・題材内容についての賛否、簡単な感想や意見等を述べるができるように批判的に読む。</li> <li>・感想や意見とその理由を述べたり話し合いを続けたりするために必要な語句や表現及び文法事項を理解する。</li> </ul>																					
時数	学習活動	指導上の留意点																			
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本単元で扱う文法事項について当該文法を実際に用いて言語活動を行うことについて慣れ親しむ。</li> <li>・それぞれの国の現状や課題と主張及びそれらの違い等について予想し、ペアで話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用法の区別などの指導が中心とならないように配慮し、実際に活用できるように指導する。</li> <li>・話し合う活動の中で適宜、本単元の新出語句を導入する。</li> </ul>																			
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを活用して本文の概要を確認した後、感想やその理由を話し合う。</li> <li>・図表や絵などを用いながら読み取ったそれぞれの国の現状や課題と主張及びそれらの違い等について口頭で要約する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想や理由を述べるために必要な表現を指導する。</li> <li>・グループで、聞き手の理解を確認しながら話すように注意させる。</li> </ul>																			
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文で扱われていない国についての現状や課題と主張が書かれた英文を読み、その概要を把握する。</li> <li>・それぞれの国の主張について「どの国の主張が妥当か」とその理由をグループで話し合う。</li> <li>・各グループで話し合った内容をクラス全体に発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文について読み取った内容から英文の概要を推測させ、内容の理解を促す工夫をする。</li> <li>・話し合いを続けるために必要な表現を指導する。</li> <li>・黒板にキーワードのみを書き口頭発表するように指導する。</li> </ul>																			